

一般質問

3月
定例会

公共事業

年度末に集中しすぎる

早めに出す努力をする

総務課長



さかもと あや 議員

電気がついている現場を見に行ったことがあるか。

近々の国の緊急対策等で事業を前倒しで入れることもあり対応に随分苦労があることも良く分かる。今年度予算も100億円を超える大きな額となり当然多くの事業がある。年度途中で国の事業が決まれば消化できないので繰越明許になるが、これは逆に年度初めから仕事が出せるので、業者の皆さんは助かるしありがたいと思う。

問題は、議会が認めた当初予算に計上された事業や、繰越となっていた事業などが年度末までかかる等で、その原因が職員の意識や多忙が原因になっていないかという点だ。事業の進捗状況を聞きにくくと「忙しい」「検討中」という返事が返ってくる。「何時まで検討するのか」と思う

町が発注する各種事業や公共工事等の発注時期が年度末に集中して事業を受けた業者は過酷な状態で仕事をしている。この現実をしつかりと受け止めて、適正な工期を確保し安全に確実な仕事をしてもらえるように行政は努力すべきではないか。

職員も一生懸命仕事をしているということだが、年度末の工期で仕事を請けた業者は休みも無い、寝る間も無い状態で仕事をしている。夜中も

ことがある。職員の仕事が遅ければ当然工期が短くなるのだから、受け持っている事業の発注時期を意識していないと業者が困ることになる。担当課では分かっているけど、各課から一斉に事業が出ると、

請ける業者も限られて、せっかく工事が出ても、仕事が溢れて受注できない状況が出ている。厳しい時代に雇っている職人も少なくなり、業者間で助け合って仕事をこなしている状況で、仕事が集中したら請けたくても請けられない。仕事の質にも影響が出る。

23年度当初予算を審査した。来年度は慎重な計画を立てて漏れなく地域の方に事業が出せるような検討をしてほしい。

いように、できるだけ満遍なく事業を出してもらいたい」といわれる。

中小企業育成、地元育成という点で、その部分にも配慮しながら、可能な限り取り組んでいる。

工期は、土木工事の道路関係など標準的なものがあるがそれに基づいて対応をしている。特に5千万円以上の工事は議会の議決が必要であり、議会の定例会があればそのときに議決をもらい、少しでも早く発注しなくてはならないということになれば臨時議会を開いていただき議会の議決をいただいている。

今までもそうだが来年度も精一杯頑張りたいと思っている。

答

松田 総務課長

3月31日までの事業もできるだけ早期発注ということを中心掛けて対応しており、業者の方からもよく「切れ目な

